

(別添9-2) 各追加予定行為に特有の事項として得られた回答例

<診療放射線技師に係る行為>

問2① 造影剤注入装置及びRI検査医薬品を注入するための装置を接続する行為

- ・血液逆流の確認
- ・漏れた時の対処法
- ・神経障害(迷走神経反射なども含む)に関する知識

問2④ 下部消化管検査のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為

- ・腸管穿孔予防措置

問2⑤ 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為

- ・誤嚥の予防と対処方法など
- ・耳鼻咽喉、呼吸器の解剖生理

<臨床検査技師に係る行為>

問2② 肛門にバルーンを挿入し、バルーンに空気を注入して圧を測定する直腸肛門検査

- ・解剖の理解、患者への心理的配慮
- ・患者の状態(認知機能、転倒転落の可能性等含む)を理解すること

問2④ 運動誘発電位・体性感覚誘発電位に係る電極装着(針電極含む)・脱着

- ・安全管理(抗血栓薬の使用や禁忌となる刺入部位など)

問2⑥ 消化管内視鏡検査・治療において、医師の立会いの下、生検鉗子を用いて消化管から組織検体を採取する行為

- ・消化管の解剖、内視鏡の基礎原理
- ・生検後、出血の場合の対処法

問2⑦ 静脈路に成分採血のための装置を接続する行為、成分採血装置を操作する行為

- ・起こりうるトラブル(接続不良、脱血不良、装置の停止など)への対応
- ・体外循環の知識、アフレスシスの知識、成分採血の目的、臨床的意義、
- ・機器の操作方法や使用方法、清潔操作

問2⑧ 超音波検査に関連する行為として、静脈路に造影剤を注入するための装置を接続する行為(静脈路確保を除く)、造影剤を投与するために造影剤を注入するための装置を操作する行為

- ・アナフィラキシーの対応方法と造影剤漏出時の観察方法

＜臨床工学技士＞

問2① 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するために静脈路を確保し、それらに接続する行為

- ・上肢皮下静脈の解剖、採血合併症とその対応について(神経損傷・迷走神経反応等)
- ・アルコール禁、左右上肢処置禁などの禁止事項の確認

問2② 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、輸液ポンプやシリンジポンプを用いて薬剤を投与する行為

- ・リスクの高い薬剤や禁忌、配合変化についてなど薬剤一般の知識

問2④ 血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の動脈表在化への接続又は動脈表在化からの除去

- ・動脈走行の解剖、伴走する神経走行の解剖
- ・シャントの解剖・特徴・取り扱い

問2⑤ 心・血管カテーテル治療において、生命維持管理装置を使用して行う治療に関連する業務として、身体に電氣的負荷を与えるために、当該負荷装置を操作する行為

- ・治療機器の原理、使用方法、侵襲的行為に対する心血管反応、心電図理解
- ・植え込みデバイス(ペースメーカーなど)を、刺激・通電する上での注意点

問2⑥ 手術室で行う鏡視下手術において、体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラを保持する行為、術野視野を確保するために内視鏡用ビデオカメラを操作する行為

- ・体腔内臓器の解剖、機器の原理構造使用方法